

# 船舶

造船・海洋開発

# 5

MAY

First Published in 1928 — 1982 Vol.55 / No.608

新連載・船殻設計の理論と実際／船舶の就航実績解析プログラムと解析例／高度合理化コンテナ船“あめりか丸”



有明工場で竣工した世界最大の鉱石船 “HITACHI VENTURE” (26万DWT)

 **日立造船**

# 5



目次/Contents

新造船の紹介/New Ship Detailed

高度合理化コンテナ船“あめりか丸”の基本計画……………毛利武弘…10  
 On the Basic Planning of the Highly Progressive Container Ship“AMERICA MARU” T.Mohri

“あめりか丸”の省エネルギーおよび省力化設備について…三井造船・基本設計部…22  
 on the Design & Construction of the Highly Progressive Container Ship“AMERICA MARU”Mitsui Engineering & Shipbuilding

新連載/船殻設計の理論と実際<1>……………間野正己…29

船舶の就航実績解析プログラムと解析例……………田中 稔…36  
 Computer Program for Analyzing Voyage Data and an Example of Analysis M.Tanaka

連載/山県昌夫先生と目白水槽<12>……………重川 渉…48

連載/液化ガスタンカー<47>……………恵美洋彦…50

海洋開発

海洋構造物<2>……………芦野民雄…63

Ocean Technical News Flash ……………62

舟艇協会創立50周年記念特集・4

ボート界50年間の変遷<2>……………小山 捷…67

IMCOレポートNo.5 / 第23回コンテナ貨物小委員会, 第26回航行安全小委員会………… 7

NKコーナー……………35

海外事情/Italcantieri社の石炭焚きバルク・キャリア……………60

ニュース・ダイジェスト……………78

特許解説/Patent News ……………80

表紙/世界最大の鉾石運搬船“HITACHI VENTURE”

日立造船有明工場で建造されたChivalry Carries社向け26万重量トン鉾石船。1月8日引渡し後、ブラジルとヨーロッパ間に就航した。

本船は船首に同社開発のシリンドリカル・バウを採用、船尾にもHZノズルを装備し、また静圧過給機関と排ガスエコマイザーによるターボ発電機の採用など低燃費対策を行なっている。また同社開発の自動航法装置“トランソライン・マークII”も装備している。(主要目は61頁参照)